



株主通信

第57期・事業のご報告

(2017年3月1日～2018年2月28日)



マックスバリュ北海道株式会社

証券コード: 7465

マックスバリュ北海道は、 “すべてはお客さまのために”という 不変の理念のもとに、 「基本の徹底と変化への対応」に 取り組みます。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、このたび当社第57期(2017年3月1日から2018年2月28日まで)が終了いたしましたので事業の概況などにつきましてご報告申し上げます。
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

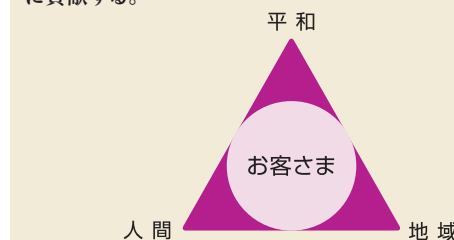
2018年5月



代表取締役社長 出戸信成
Deto Nobunari

イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



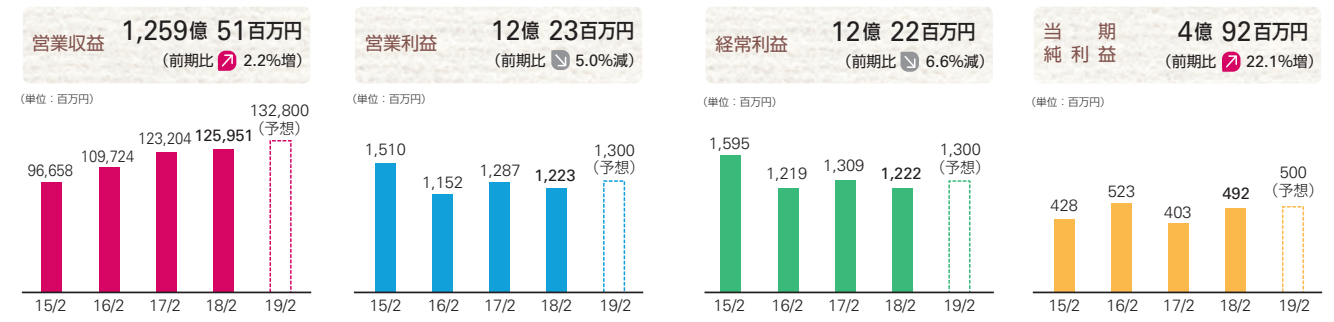
「平 和」:イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

「人 間」:イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

「地 域」:イオンは、地域のくらしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

イオンは基本理念のもと、**絶えず革新し続ける企業集団**として、
「お客さま第一」を实践してまいります。

イオン(AEON)とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。
私たちの理念の中心は「**お客さま**」:イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、最もお客さま志向に徹する企業集団です。



2018年2月期決算のポイント

- 商圈シェアの拡大では、3店舗の新規出店をいたしました。7月に札幌市への出店は4年ぶりとなる「マックスバリュ北40条店」、10月に「マックスバリュ新発寒店」を最新のフラッグシップ店舗として開店いたしました。また、11月には、旭川市に2店舗目となるディスカウント店舗の「ザ・ビッグ緑が丘店」を開店いたしました。札幌市に出店の店舗については、都市型のライフスタイルに対応した「簡単・便利・即食」をコンセプトとした商品の品揃えを充実させるとともに、医薬品売場も併設いたしました。また、生鮮作業室の見える化を行い、商品化している工程を見て感じていただき、安心して買い物いただけるようにいたしました。さらに、お買上商品を食べながらおくつろぎいただけるスペースを設置し、多くのお客さまに憩いの場としてご利用いただいております。旭川市に出店のディスカウント店舗は、節約志向に対応し、毎日の食生活に必要な商品をお値打ち価格でご提供することをコンセプトに、買い回りしやすい売場にいたしました。
- 店舗活性化では、9店舗の大型改装を実施いたしました。商圈特性に合わせた品揃えや地場産品の品揃えの拡充と、老朽化した冷蔵設備や陳列什器を入れ替え、お客さまが買い回りしやすい売場配置に変更いたしました。
- お客さまの節約・低価格志向にお応えすべく購買頻度の高い商品の価格訴求を行ってまいりました。具体的には毎週実施の「火曜日」「水・木曜日」の曜日市に「日曜大市」を加えて販売強化を行いました。また、毎月恒例となっております「お客さま感謝デー」「わくわくデー」等の販売強化や低価格でご提供する販促企画「安い値!」では、特に野菜の販売強化を実施いたしました。これらの施策が奏功し買上点数増加による客単価の向上に結び付けました。
- 売上高は前期比102.2%、客数は同98.7%、客単価は同103.6%となりました。既存店売上高は、2010年9月から消費税増税による駆け込み需要で影響のあった2015年3月を除き、7年5カ月にわたり前年同月を上回る結果となりました。

次期の見通し

今後の経営環境は一部に明るい兆しが見え始めておりますが、当社の属する北海道のスーパーマーケット業界では、業態を超えた競争が一層激しさを増し、低価格志向が継続するとともに全国に先駆けて進む人口減少、高齢化の進行等厳しい経営環境が続くものと思われます。
こうした環境の下、当社は成長戦略の一環である新規出店を積極的に行ってまいります。人口減少の緩やかな札幌市に2店舗の出店を計画しており、この2店舗では、都市部のモデル店舗としてあるべき品揃え、売場配置等を進化させ、地域に密着した店舗経営を実践し、早期軌道化と収益化が図れるように努めてまいります。また、商圈特性やお客さまのライフスタイルに合わせた店づくりをするために既存店舗の活性化も引き続き行い、商圈シェアの拡大を図ってまいります。併せて、生産性向上の取り組みとして、作業効率改善に向け、情報システム投資や実務教育による人材育成にも取り組み、収益力の向上を図ってまいります。

2019年2月期 業績予想

営業収益	1,328億円（前期比+5.4%）
営業利益	13億円（前期比+6.3%）
経常利益	13億円（前期比+6.3%）
当期純利益	5億円（前期比+1.5%）

トピックス 3店舗の新規出店



MaxValu マックスバリュ北40条店 2017年7月28日開店(札幌市東区)



Point

- ・オープンキッチン
- ・今朝採れ野菜

生鮮作業室の見える化を行い、ベーカリー、惣菜、刺身などの商品化している工程を見て感じていただき、安心して買い物いただけるようにいたしました。また、地元で収穫した新鮮な野菜の品揃えを拡充し鮮度向上に寄与いたしました。

MaxValu マックスバリュ新発寒店 2017年10月27日開店(札幌市手稲区)



Point

- ・くつろぎひろば
- ・即食商品の品揃え

「くつろぎひろば」では、お買上げいただいた商品を召し上がっていただき、おくつろぎいただけるように無料のお飲み物やWi-Fi環境を整えました。また、品揃えについては、調理パン、お惣菜をはじめとしたすぐ食べられる商品を豊富に取り揃え、多くのお客様さまにご利用いただいております。

BIG ザ・ビッグ緑が丘店 2017年11月24日開店(旭川市)



Point

- ・「買えば買うほど安さがる」価格でご提供

北海道第2の都市である旭川市に2店舗目となるディスカウント店舗を出店いたしました。節約志向に対応し、ザ・ビッグの基本コンセプトである「買えば買うほど安さがかかります」を実現するため、毎日の生活に必要な商品をお値打ち価格でご提供しております。

9店舗の既存店活性化



〇マックスバリュ(スーパーマーケット業態)	活性化オープン日
マックスバリュ手宮店(小樽市)	2017年3月11日
マックスバリュ共和店(共和町)	4月15日
マックスバリュ富川店(日高町)	4月29日
マックスバリュ池田店(池田町)	5月20日
マックスバリュ八雲店(八雲町)	7月15日
マックスバリュ春駒通店(帯広市)	9月15日

店舗活性化では、主に「品揃えの見直し」と「設備の一新」を実施いたしました。「品揃えの見直し」では、近隣で生産・漁獲された商品、地域に根ざし親しまれている商品、ニーズが拡大している即食・簡便商品、健康志向に対応した商品の品揃えを拡充しました。「設備の一新」では、老朽化した冷蔵設備や陳列什器を入れ替え、また、お客さまが買い回りしやすい売場配置に変更いたしました。



地場商品の取り組み

簡便商品の拡充

健康に配慮した商品の拡充

〇ザ・ビッグ(ディスカウント業態)	活性化オープン日
ザ・ビッグ文苑店(釧路市)	2017年3月25日
ザ・ビッグ土別店(土別市)	5月27日
ザ・ビッグエクスプレス前田店(札幌市)	6月24日

ザ・ビッグ店舗においてもマックスバリュ店舗と同様に、「品揃えの見直し」と老朽化した「設備の一新」を実施したほか、レジ待ちのストレスを解消すべくお支払いセルフレジを導入しました。また販促物の統一や陳列方法の見直しなど、商品が見やすく、分かりやすい売場の実現に取り組みました。



設備の一新

効率化(お支払いセルフレジ)

分かりやすい売場への取り組み

※お支払いセルフレジは、マックスバリュでも導入を進めております。



●節約志向と健康志向への対応



お客さまの節約・低価格志向にお応えすべく購買頻度の高い商品の価格訴求を行ってまいりました。具体的には毎週実施の「火曜日」「水・木曜日」「日曜大市」、低価格でご提供する「安い値!」「今週のおすすめ品」の販売強化を実施いたしました。また、年々拡大している健康志向にお応えするため、減塩、低糖質商品や特定保健用食品の飲料や機能性表示食品のヨーグルト等の品揃えを充実させました。

●改善活動「マイストア委員会」



フレンド社員(パートタイマー)で構成するマイストア委員会活動を各店で実施し、より地域に密着した店舗運営を目指しております。地域のことを熟知しているフレンド社員が地域の文化・習慣に合った商品や売場の改善活動について意見を出し合い、より魅力ある売場づくりの実現を目指しております。毎年「マイストア委員会」の活動発表会を実施し、取り組み事例を全店で共有しております。

●毎月旬の食材をおすすめする「イチオシ商品」企画



取り組みから3年目となる旬の食材をおすすめする「イチオシ商品企画」において、北海道産のミニトマト、長いも、メークインや北海道近海で水揚げされた真だら、生かき、たこ等を「楽はやっ! クッキング」と題して調理方法を売場、テレビ番組、ホームページと連動した情報提供に取り組み、お客さまから好評をいただいております。

※ザ・ビッグ店舗では「イチオシ商品企画」を実施しておりません

●「お客さまの声」お聞かせください



当社の店舗には、お客さまにご意見などをいただく投函BOXを設置しております。お寄せいただくご意見、ご要望、お叱りは店舗でお答えするだけでなく、定期的に幹部社員で内容の確認を行い、品揃えやサービスの改善に活かしております。なお、ご意見は当社のホームページからもお寄せいただけますので是非ご活用くださいませ。

当社ホームページ <http://www.mv-hokkaido.co.jp/>



●清掃活動



毎月11日の「イオン・デー」は、未来へ繋ぐより良い環境を実現するため、店舗と本社の周辺地域や公園等の清掃活動を実施しております。毎年10月の3R推進月間には、各地域で清掃活動を拡大して実施しております。2017年度は各地域の皆さまやイオングループ従業員など約2,500名が参加しました。

●植樹活動



公益財団法人イオン環境財団、厚真町、北海道のイオングループの従業員、お客さまが参加し、産業やくらしを支える森の再生を目指して、2015年度から3ヵ年計画で「厚真町植樹」を実施いたしました。3年目にあたる2017年度は、総勢700名で5,600本の苗木を植樹し、3年間で17,000本の植樹となりました。

●電子マネー「WAON」による寄付活動



ご当地WAONは、ご利用金額の一部を当社が自治体などに寄付させていただき、地域の環境保全、観光振興にお役立ていただいているカードです。現在、北海道に関わるご当地WAONは、2017年度に発行した「とかち帯広WAON」を含め7種類を発行しており、2017年度は総額560万円を寄付させていただきました。

●イオン 幸せの黄色いレシート



毎月11日の「イオン・デー」には、お会計時にお渡しする黄色いレシートを店舗に設置してあるBOXへ投函していただくことで、レシート金額合計の1%相当を希望される品物に換えて福祉団体や学校等へ寄贈させていただきます。2017年度は180団体さまに710万円分の商品を寄贈させていただきました。

●地域に密着した食育活動の推進



2012年度より、次世代を担う地域のお子さまを対象に、野菜・果物摂取の大切さ、正しい食生活のあり方を知っていただくことを目的として「食育体験学習」を各店舗で実施しております。取り組み開始から6年目となり、2017年度は8店舗で444名のお子さまに参加いただきました。

●いざという時に、お力になれる企業を目指して

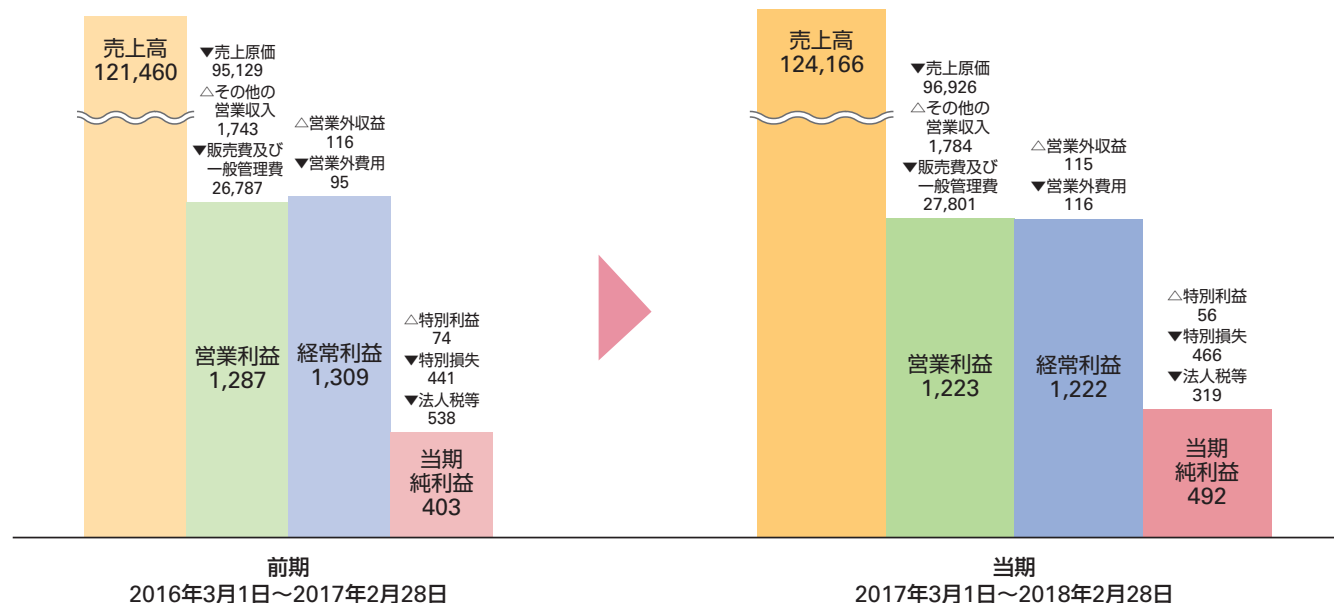


地震や風水害、その他災害が発生した際に、食料品、飲料水、日用品等必要な応急生活物資の円滑な供給などを盛り込んだ防災協定を締結しております。2017年度は、帯広市、池田町、清水町、中札内村と災害における支援協力の協定を結びました。

2017年度の業績報告 決算レポート



損益計算書(単位:百万円)



売上高

当事業年度では、3店舗の新規出店と9店舗の大型改装を実施いたしました。また低価格でご提供する「安い値!」や「お客さま感謝デー」「HYPERフードデー」「ザ・ビックデー」の販促企画が好調に推移し、売上高が前期と比較して2.2%増加し1,241億66百万円となりました。

営業利益

売上高から売上原価を差し引いた売上総利益は、売上増加要因と仕入管理、販売管理が改善したこともあり、前期より3.5%増加し272億40百万円となりました。また、人時単価の上昇、「WAON POINTカード」関連費用、新店および改装投資費用の増加等により販売費及び一般管理費が

前期と比較して3.8%増加し278億1百万円となりました。これにより営業利益は前期より5%減少し12億23百万円となりました。

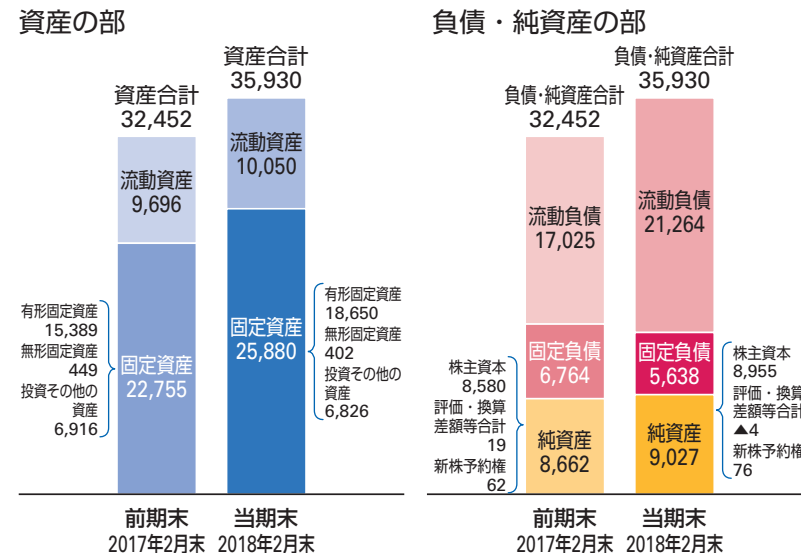
経常利益

営業外収益を1億15百万円および営業外損失を1億16百万円を計上したことにより、経常利益は前期より6.6%減少し12億22百万円となりました。

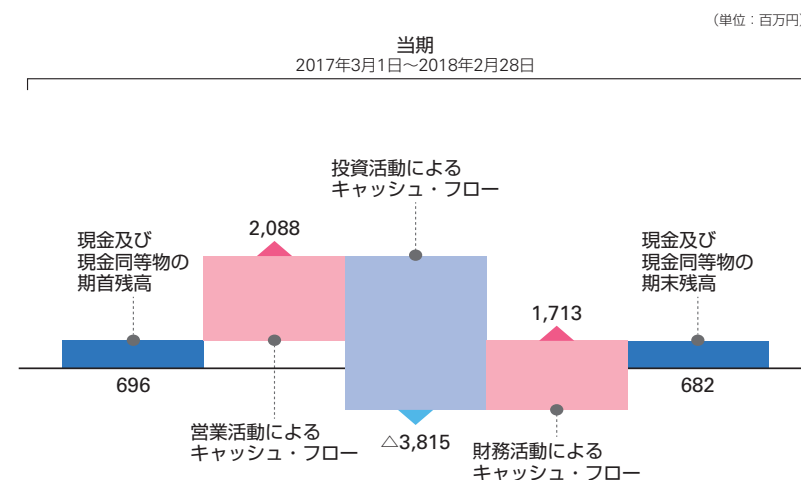
当期純利益

不採算店舗が保有する固定資産の減損損失を3億50百万円、店舗閉鎖に伴う引当金を1億16百万円計上しました。法人税等として3億19百万円計上し、当期純利益は前期より22.1%増加し4億92百万円となりました。

貸借対照表(単位:百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要



資産の部

前期末に比べ10.7%増加し、359億30百万円となりました。これは主に建物(純額)が14億50百万円、土地が10億25百万円、工具、器具及び備品(純額)が4億18百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債の部

前期末に比べ13.1%増加し、269億3百万円となりました。これは主に短期借入金36億14百万円、設備関係支払手形が8億68百万円それぞれ増加し、長期借入金14億59百万円減少したこと等によるものです。

純資産の部

前期末に比べ、4.2%増加し90億27百万円となりました。これは繰越利益剰余金が3億75百万円増加したこと等によるものです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、20億88百万円となりました。収入の主な内訳は、減価償却費15億55百万円、税引前当期純利益が8億11百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額4億3百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、38億15百万円となりました。収入の主な内訳は、有形固定資産の売却による収入2億61百万円、建設協力金の回収による収入2億47百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出39億39百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、17億13百万円となりました。収入の主な内訳は、短期借入金の増加額36億14百万円、支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出17億34百万円であります。



会社情報

株式の状況

発行可能株式総数	27,000,000株
発行済株式の総数	6,903,775株（自己株式37,575株を除く）
株主数	3,767名（前期比64名減）
単元株式数	100株
	（2018年2月28日現在）

大株主の状況

株主名	持株数（株）	持株比率（％）
イオン株式会社	3,985,900	57.7
株式会社北洋銀行	339,000	4.9
マックスバリュ北海道共栄会	314,300	4.6
イオンフィナンシャルサービス株式会社	265,000	3.8
株式会社北海道銀行	170,000	2.5
出戸一成	140,400	2.0
マックスバリュ西日本株式会社	118,000	1.7
株式会社北陸銀行	106,000	1.5
出戸信成	62,900	0.9
株式会社エフピコ	61,000	0.9

（注）持株比率は自己株式を控除して計算しております。
（2018年2月28日現在）

株主分布状況

種別	人数（名）	分布比率（％）
国内法人	139	3.69
金融機関	11	0.29
証券会社	6	0.16
外国法人	2	0.05
自己名義株式	1	0.03
個人・その他	3,608	95.78
	（2018年2月28日現在）	

会社概要

社名	マックスバリュ北海道株式会社
本社	〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西21丁目1番10号
資本金	11億76百万円
設立	1961年3月
事業内容	スーパーマーケット
従業員数	1,120名 パートタイマー3,518名（8時間換算） （2018年2月28日現在）
主要取引銀行	株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行
株式代行業務	三井住友信託銀行株式会社
役員	代表取締役社長 出戸 信 成 取締役 水 谷 和 彦 取締役 玉 生 澄 絵 取締役 鈴 木 秀 康 取締役 石 橋 孝 浩 取締役 國 保 明 宏 取締役 土 井 育 雄 取締役（社外） 林 美 枝 子 取締役（社外） 水 野 克 也 常勤監査役（社外） 福 岡 眞 人 監査役（社外） 橋 本 昭 夫 監査役（社外） 吉 岡 征 雄 監査役（社外） 芳 賀 直 人

（2018年5月17日現在）

決議ご通知

第57期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、本日開催の当社第57期定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

報告事項 第57期（2017年3月1日から2018年2月28日まで）事業報告の内容および計算書類の内容報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案

取締役9名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、取締役に 出戸信成、水谷和彦、玉生澄絵、鈴木秀康、石橋孝浩、國保明宏、土井育雄、林美枝子、水野克也の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第2号議案

監査役1名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、芳賀直人氏が社外監査役として選任され、就任いたしました。

以上

株主メモ

決算期	毎年2月末日
利益配当基準日	2月末日
中間配当基準日	中間配当を行う場合は8月31日
定時株主総会	毎年5月

株主名簿管理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-782-031（フリーダイヤル）

同取次所
三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店で行っております。

単元株式数
100株

公告の方法
電子公告を右記の当社ホームページにて行います。やむを得ない事由による場合は日本経済新聞に掲載し、公告いたします。

●単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は1単元（100株）に満たない株式（単元未満株式）をお持ちの株主の皆さまのご便宜を図るため、従来からの買取制度に加え、「単元未満株式の買増制度」を実施しておりますので、ご利用ください。お手続きなどの詳細につきましては株主名簿管理人あてにご照会ください。なお、保管振替制度をご利用の株主さまは、お取引証券会社あてにご照会ください。



ホームページのご案内

ホームページでは、当社の企業活動全般の情報を掲載しております。
また、決算発表資料等を適時掲載しております。



<http://www.mv-hokkaido.co.jp/company/>

株主優待制度のご案内

■対象となる株主さま

決算期末現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主さま

■優待内容

所有株式数1単元（100株）以上保有の株主さまに対し、下記のとおり贈呈いたします。

① 100株～999株の株主さま 下記のいずれかのコースをお選びください。 ①優待券コース 株主さまご優待券 5,000円分 (100円券×50枚)  ②海コース 北海道産 ボイル毛がに (400g)2杯  ③山コース ふらの産 ブラチナ メロン赤肉 (特秀品)2L×2玉  ④スイーツコースⅠ (六花亭) 北海道銘菓 六花亭 詰め合わせセット  ⑤スイーツコースⅡ (柳月) 北海道銘菓 柳月 詰め合わせセット 	② 1,000株～1,999株の株主さま 下記のいずれかのコースをお選びください。 ①優待券コース 株主さまご優待券 10,000円分(100円券×100枚)  ②海コース 北海道産ボイル毛がに(500g)2杯・ 開きほっけ2パック・虎杖浜たらこ  ③山コース ふらの産ブラチナメロン赤肉(特秀品)2L×2玉 ふらの産青肉メロン2L×2玉 	③ 2,000株以上の株主さま 下記のいずれかのコースをお選びください。 ①優待券コース 株主さまご優待券 20,000円分(100円券×200枚)  ②海コース 北海道産ボイル毛がに(500g)2杯・ 開きほっけ2パック・時鮭5切・たこ足・ 虎杖浜たらこ・いくら醤油漬・数の子干両(松前漬)  ③山コース ふらの産ブラチナメロン赤肉(特秀品)3L×2玉 ふらの産青肉メロン3L×2玉 
---	--	---

※株主さまご優待券は、当社が運営する北海道内のマックスバリュ、マックスバリュエクスプレス、札幌フードセンター、フードセンター、ジョイ、プライスマート、ザ・ビッグ、ザ・ビッグエクスプレス、いちまるの各店舗および、全国のマックスバリュ、イオン、まいばすけっと、ザ・ビッグ、スーパーセンター等の直営店舗でご利用いただけます。
※株主さまご優待券は、1回のお買上金額が1,000円(税込)以上の場合につき1,000円毎に1枚ご利用いただけます。ただし、酒類・タバコ・切手・印紙・ハガキ・商品券・プリペイドカード・処方箋により販売する医薬品・その他各社の指定する商品にはご利用できませんのでご了承ください。

■お届け時期：優待券コースは、6月中にお届けを予定しております。
海コースは、冷凍にて7月中にお届けを予定しております。
山コースは、常温にて7月中旬～8月上旬にお届けを予定しております。
スイーツコースは、冷蔵にて6月中にお届けを予定しております。

※海・山各コースは収穫の状況により発送が前後することもあります。また不作により代替商品となることがございますので、予めご了承ください。



マックスバリュ北海道株式会社

〒060-0008 札幌市中央区北8条西21丁目1-10
TEL 011-631-1358 FAX 011-631-1394
URL <http://www.mv-hokkaido.co.jp/>



木を植えています

私たちはイオンです

